

3月25日（第6号・22日目）一般質問

○議長 知念富信君 これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

開議（午前10時00分）

日程第1． 会議録署名議員の指名

○議長 知念富信君 日程第1． 会議録署名議員の指名を行います。本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって7番 大城 勝議員、8番 照屋仁士議員を指名します。

日程第2． 一般質問

○議長 知念富信君 日程第2． 一般質問を行います。それでは、通告書のとおり順次発言を許します。14番 宮城寛諄議員。

〔宮城寛諄議員 登壇〕

○14番 宮城寛諄君 おはようございます。一般質問を通告どおり、大きい質問4点について質問いたします。

まず最初に1点目、県民投票の結果をどう受けとめるかという質問をしたいと思えます。去る2月24日、県民投票において辺野古の米軍新基地建設に伴う埋立ての賛否を問う県民投票で新基地建設反対の民意が圧倒的多数で示されました。なぜこの県民投票が実施されたのか。それは、これまで幾度も多くの選挙で県民の新基地に対する反対の民意は示されてきたにもかかわらず、政府はこれまで選挙にはさまざまな争点があるとして、県民の民意に向き合ってきてませんでした。だからこそ今回の県民投票は辺野古の埋め立てに絞って、県民の意思を問うたものであります。しかしながら、安倍総理はその結果を受けて、結果は真摯に受けとめると述べる一方、もはや先送りはできないというふうにして投票結果を無視して工事を続ける姿勢を示しています。そして本日の新聞でも報道されていますように、新たな区域へ土砂を投入するという記事が載っています。琉球新報を持ってきましたけれども、そういうふうになっています。これでも沖縄県防衛局は昨年12月にキャンプ・シュワブ内にある辺野古先の南西側沿岸部6.3ヘクタール埋め立て土砂投入を始めた。また、赤土等流出防止条例について、1月に防衛局が県に提出した数値によると、現在、土砂を投入している区域に隣接した33ヘクタールを埋め立て、新たな工事に、今月25日から、要するにきょうからです、先ほどのテレビで、国会での論議がされていきましたけれども、防衛大臣はまだ始めていないけれどもきょうからやるということをしていました。それで昨日ですか、来県した菅官房長官は記者団に地元の理解を得て辺野古移設を進めていく考えに変わりはないと。地元の理解を得てというふうに答えているんです。ところが県民投票でそれだけ反対の声が上がっているにもかかわらず、要するに地元の声ですよ。これを真摯に受けとめると言いながらもこのようにまた埋め立てを進めていくと、要するにもはや先送りはできないというのは普天間の基地の危険性除去、それは先送りできないことだと思います。この危険性の除去は、県が示しているとおりに早期閉鎖、撤去、これが一番の解決策であり、代替地を求めてはいつまでたっても危険性の除去はまずできません。90メートルの軟弱地盤があること、それから工事の変更を県が認めないこと、県民投票で民意が示されたこと、その時点で辺野古ではない別の方法を国は考えないといけないのに、まさに恩着せがましく危険性の除去をいう、これはとてもおかしい、私はそういうふうに思います。

それを踏まえて、今度の一般質問で1点目に、町長はどう思うかということで、辺野古の埋め立て工事について賛否を問う県民投票結果をどういうふうに受けとめるか。それから2点目には、このような政府の対応についてどういうふうにお考えかをお尋ねいたします。

2点目に、幼小中学校教室への空調機（クーラー）の設置の進捗状況はどうなっているかということです。昨年夏の猛暑といいますか、極暑といいますか、大問題になった学校などの熱中症対策と危険なブロック塀の問題解決のために、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金というのが985億円を含む2018年度補正予算が成立しました。2018年度限りであるということで、早急な取り組みが必要だろうということで、私は、昨年担当の職員

3月25日（第6号・22日目）一般質問

にも問い合わせしました。そのときにも県のほうに要請しているということを知りました。ところが、今度の平成31年度予算に、そのクーラーの予算がなかったものですから、この質問をしたところでは、補正で出てくると思いませんでした。南風原でも一昨年ですか、115人の児童生徒の気分が悪くなったという事例もありました。それで赤嶺町長が教育長のころに平成32年度までに全ての幼小中学校の教室に空調設備、クーラーを設置するべくそういう予算も計上されてきたわけですね。今回、国からの補正で新たな展開となったわけですが、去る補正予算の説明で報告、説明はされていますけれども、せっかくですので質問をしたいと思います。1つには、全ての幼小中学校の教室にクーラーの設置が国の方針として示されました。補正予算も組まれました。本町でも県への補助金申請を行ったと聞いたが、結果はどうなったかお尋ねします。それから2点目に、1教室当たり50万円の補助と聞いたが、対応はどういうふうになっているか。この50万円程度といいますが、このクーラーの設置の総額を17万の、全国に教室があると。これを割ると大体48万円ぐらい、1つ当たり。ということで私は、1教室当たり50万円と書きましたけれども、この前の説明では平米当たり云々がありました。その辺をお答え願いたいと思います。

それから3点目に、新年度予算を問うということで質問いたします。平成31年度予算はかつてない厳しい財政状況ということで、各種団体補助金の皆減とか大幅カット、それから職員手当のカット、嘱託、臨時職員のカットなど、それから時間外手当のカット、挙げたら切りがないんですけども、このことは南風原町の中期財政計画の見直しも行うと質疑の中でありましたけれども、1点目に新年度予算の緊縮財政、南風原町中期財政計画の具体化なのかどうか、お尋ねしたいと思います。それから2点目に、国民健康保険特別会計の累積赤字の解消は平成31年度までとなっておりますけれども、この計画の中でですね。中期財政計画中の平成34年度まで伸ばしたらどうですかという質問です。それから

(3) 町三役（町長、副町長、教育長）の給与減額をいたしましたけれども、一年限りとしております。この一年限りではなく、中期財政計画中、平成34年度まで実施にしてはどうかという質問であります。

それから大きい4番、不法投棄の監視はどうなっているか。22日の質問でも取り上げられていたけれども、南風原町内には多くの不法投棄があるようで、そのときの説明では4カ所と言っていましたか。私は特に宇平橋の近くの不法投棄について質問したいと思います。(1) 宇平橋近くの不法投棄が相も変わらず続いていますけれども、監視カメラの設置も含め対策をとる必要があると思うがどうか。その4点をお願いします。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 おはようございます。宮城寛諄議員の県民投票に関するご質問にお答えをいたします。まず(1)でございますけれども、どう受けとめているかというご質問でございますが、県民投票の結果につきましては、新基地建設反対の民意が示されたものだ、そのように考えております。

(2)の政府の対応につきましては、政府は、今回の投票結果を尊重すべきだと、このように考えております。

残りのご質問に関しましては、副町長、教育長のほうから答弁をさせていただきます。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 それでは質問事項の2番目、質問要旨の(1)についてお答えいたします。平成31年1月9日に特例交付金交付申請を行い、2月1日付で沖縄県教育委員会から決定通知がございました。現在は、設計を行っている段階でございます。設計が完了し次第、工事発注を行う計画でございます。

質問要旨の(2)です。補助額の算定は、文部科学大臣が必要と認める免責に1平方メートル当たりの建築の単価を乗じて得られた配分基礎額の3分の1が交付金の配分額となり、交付金の総額は8,421万8,000円となっております。補助額を超える部分については、起債による対応となります。以上でございます。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 3点目の新年度予算を問うの(1)についてお答えします。平成31年度予算編成は中期財政計画をもとに取り組んでおりましたが、国保会計の累積赤字、後年度の財政負担の見込み増による情勢等の変化が生じたことによって、計画で見込んでいた以上に厳しい予算編成となっております。

(2)についてお答えします。平成30年度を初年度とした中期財政計画をもとに累積赤字解消を図る計画でしたが、国保会計の累積赤字見込み額の増、後年度の財政負担の見込み額増による情勢等の変化が生じたことから、本計画を行政改革検討委員会で検討をし、

見直しをいたします。

（3）についてお答えします。今後の財政状況を見ながら検討をしてまいります。

質問事項4点目についてお答えします。宇平橋近くの不法投棄については、平成30年9月15日から20日に、沖縄県南部土木事務所が放置自動車の撤去と清掃を行いました。11月18日には沖縄県ビルメンテナンス協会が清掃ボランティアを実施し、12月8日には役場職員が清掃ボランティアとして清掃を行いました。12月13日には廃棄物担当職員2人が宇平橋近くの飲食店に出向き、事業系一般廃棄物の排出指導を行いました。また、ことしの2月26日には県南部土木事務所に監視カメラ設置の要請を行っております。以上です。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 あとは一問一答方式でやっていきたいと思っております。

県民投票については、反対の民意が示されたというふうに考えますと、まさにそのとおりだと私は思います。実は、県内の各市町村の首長、議長のコメントが、これは3月1日付で出ていますけれども、まさに尊重すべきだという市町村長及び議長が圧倒的多数だと思っております。どちらとも言えないというのが、例の5つの市長、県民投票を実施しないと最初言ったところですね。そういうところとか、伊是名村、座間味村、八重瀬町もどちらとも言えないというのがありますけれども、尊重すべきだとは思わないというのは1つもありません。こういうふうには是非示されたものは、そのとおりだと、受け取るということが大事だと思っております。それにしましても政府の対応については町長おっしゃるように尊重すべきだと、そのとおりだと思っております。他のところも尊重すべきだということが多いです。市のほうでは、先ほども言ったように5市でどちらとも言えないということがありますけれども、是非町長、町村長会でもこの点を取り上げて、私は決議を上げるべきだと思っております。国は尊重しろと。ほとんどの町村長の皆さん方がそういうふうに尊重すべきだということを新聞でも出されています。私はその辺は是非とも沖縄県首長の皆さん方が声をそろえてやるべきだと思っております。政府は、地元の理解を得て進めると言っていますから、反対だという声を是非進めてほしいと思っておりますけれども、いかがですか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。新聞報道でもご承知のとおり、県内の各市町村の多くの方々が尊重すべきだと、県民投票の結果を尊重すべきだという新聞記事がございました。ご質問の趣旨といたしまして、町村会あたりでもその辺を決議か何かして、統一行動か何かあったほうがいいんじゃないかという趣旨かと思っておりますけれども、私もそう思っています。ただ、どこが、どこの市町村長が先頭に立ってやっていただくかと。もちろんそれは町村会長とか振興会の会長とか、そういった立場の首長にやっていただいたほうがいいんですけれども、私も正直言ってその辺は機会あるごとに2013年の東京行動みたいな、そういった行動があれば私もあると思っていますけれども、議員がおっしゃるように、そういった機会があれば私もその辺の態度は明確にしていきたいと考えております。ご承知のように、私もまだ就任1年目でございまして、なかなか町村会でそういった旗振りの役割といたしますか、そこまでまだ、何といたしますか、自信を持っておりませんので、その辺は是非ご理解をお願いしたいと思っております。以上です。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 町長もそういうふうにお考えだと、是非やってほしいと思っております。ただ町長、南風原町の町民の代表です。こんなに遠慮してもしょうがないんじゃないですか。1年生町長、2年生町長、いろいろございますでしょうけれども、それは首長の権利は一つでしょうし、私たち議員にしても、私は8期目になりますけれども、1期目の議員と全く同等ですから。その辺は町長だってそうだと思います。是非、先頭に立って音頭をとる人が誰になるかということをおっしゃっていましたが、会長に任せなくても、南風原町長が手を挙げてやってほしいと私は思います。その辺を要望いたします。是非その辺は頑張してほしいと思っております。

2点目に移ります。クーラーの設置の件ですけれども、特に何といたしますか、これまでも南風原町は平成32年度までにやるという計画、これが31年度までにとということで、1年間前倒しになったということで、その辺は大変喜ばしいことだと、一日も早くやってほしいということが、子供たちとか、父母の皆さん方から言われていたわけですから、要望が出たわけですから、それは十分に頑張してほしいと思っております。この答弁の中で、今、設計を行っている段階で設計が完了次第、工事発注を行う予定ですと。それで予算のときの質疑に出たんですけれども、休みを利用してなるべく早く行うようにするとおっしゃってました。ところがこの工事ですけれども、平成31年度中にちゃんと完成するのかどうかというのは非常に不安であります。要するに南風原町だけのクーラーの設置ではないわけで

3月25日（第6号・22日目）一般質問

すから、ほかの市町村もあるわけですから、それだけの業者がいろいろいらっしゃるのかどうか、私はそういう予備知識を持っていないんですけれども、だからあのときでも地域の電気屋さんも含めて、全部協力すべきじゃないのかという話もしましたけれども、もしこの工事が平成31年度に終わらなければ、この予算というのはどういうふうになりますか。これは2018年度限りの補正予算で組まれたものであるわけですから、そのときに終わらなければ平成32年度に繰り越しかということにはできるんですか。是が非でも31年度で終わらなければならぬという、そういうものですか、その点をお聞きします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 基本的に是が非でも平成31年度には終わらすべき予算だと考えております。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時23分）

再開（午前10時23分）

○議長 知念富信君 再開します。教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 原則、その予算の期限内で、それから一般的な、今回は特別に年度間際でこの予算がついたので繰り越しかという形になってはいますけれども、平成31年度に終わらない場合どうするかということについては、基本は、基本のルールにのっとって手続はされていくものと考えております。万が一という話でしたけれども、何らかの形で、どうしてもできないような形が発生した場合は事故繰りという形の手続をとるものだと考えてはいますけれども、原則平成31年度中には完了させるべき工事だというふうに認識しています。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 万が一、予算の消化が平成31年度にできないと、要するに工事ができないということであれば、事故繰りという形で、要するにその予算内で、3分の1補助の中でできるということですか、今の答弁は。できないということですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今、答弁したのは、基本的にこの予算の、現在についている予算の範囲内で工事は進めていくと。何らかの形でこの製造メーカーが災害等で物が来なかったであるとか、台風等で工事ができなかったであるとか、いろいろその辺の要因はさまざまあると思いますけれども、その原因がきちんと認められるようなものであって、繰り越さないといけないような事態が発生した場合は事故繰りという形で、再度工事の期間を延ばすこともあり得るかと思いますが、基本、この年度内で完了させるべき工事だと認識しております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 わかりました。是非年度内でできるように、その辺は知恵を絞ってやってほしいと思います。

ところで、この前の22日の質問で私がちょっと気になったところがあるんですけれども、入札のやり方、これも最低価格が入札時、落札した後、速やかにということが、今は契約後にしか発表しないと云々があって、いろいろあったんですけれども、今度の事業についてもそういうふうなやり方をやるわけですか。南風原町は平成29年度からそういうふうになったと、22日に説明がありましたけれども、今回もそういうふうなやり方を行うのかどうか。ちょっと気になったのは、確かに職員が見間違っただと、要するに3人もね、そういうことがあってと言っていますけれども、皆さん方は念には念を入れてと、町長はこの点を謝って、念には念を入れてチェックしていくとありましたけれども、変な見方をすれば、落札して、そのときに最低価格は幾らでしたかと報告しない、そこで契約しないと報告しないということをおっしゃっていましたが、悪意を持てば、この入札、落札業者を変えることもできるわけです。そういうふうな疑いを持たれる可能性がある入札だと、私はやり方だと思います。あとで教えるというのは、契約した人に。時点でやるというのは。落札時点で今幾らでしたと、だったらどこが落とされたというのははっきりわかるわけですから、その時点でわからないわけですから。だって今度の失敗も見逃してしまったために営業者が落札をしたけれども、3日後には違っただと、最低価格を上回っていたと、だからB業者が変わったというふうになっているわけですから、そういうことが、要するに変な疑いを持たれないためにも、皆さんのところですぐ発表すべきではないかと思うんですけれども、今回は学校のクーラー問題、多くの工事ですので、小中学校、その辺はどういうふうになさるつもりですか、これまでどうですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

3月25日（第6号・22日目）一般質問

○教育部長 金城郡浩君 お答えします。入札については、現時点では規則要項にのっとって行われるものだというふうに考えておりますが、前回の答弁にもございましたように、早急にその部分については検討してまいりますということも含めて、お互い、それから間違い等がないように、近隣市町村等の実施状況も我々のほうで調べて、方法についてはそういう間違い、それから疑いが出ないような形で実施したいと考えております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 その辺はもちろん疑いがかからないように、間違いがないようにするというのが、これは当然のことですよ。そうであったにしても、疑いがかけるような、そういう方法です、これは。実際に間違いなくそういうふうに見たにしても、先ほどから言っているように、悪意があればです。悪意を持つとは思いませんけれども、皆さん方。万が一そういうふうに疑いをかけられたらどうしますか。だからそれがないように、本当は公表の方法を、私は時期を変えるべきだと。入札のときに、要するに落札後に公表するというのに変えるべきだと。平成29年何月でしたか、あれ以前のやり方のほうが疑いをかけられないと私は思います。その辺は皆さん十分に検討していくということですが、その辺がないように是非やってほしいと思います。人の疑いというのはなかなか大変ですので、今度だってA者からB者が変わって何事かというふうに思うわけですから、そういうふうにならないように是非やってほしいと思います。

3点目に行きたいと思っております。新年度の予算を問うというところです。南風原町の中期財政計画に基づいての具体化かという質問をしたんですけれども、この計画を行政改革検討委員会で見直していきまうという答弁になっております。ではその検討委員会での検討ということは、これはいつまでにその結果が出るんですか。その間は今の中期財政計画で済むわけですね、平成34年まで、じゃないですか、その辺をお聞きしたいと思っております。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 計画のスケジュールは平成31年4月から検討を開始しまして、早い段階、予算編成が時期までに、10月、11月このあたり、予算編成までにはまとめて、その行革でつくられた案に基づいて、平成32年度以降の予算編成に臨んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 いろんな一般会計とか、それとか特別職の給与の議案のときにも大分厳しいということをおっしゃっていましたが、ということは再来年から実施ということになるのか、平成31年度の4月から初めて、次の予算編成ぐらいまでということですから、ということは平成32年度からということ…、これまでは計画どおりということですが、今度の特別職とかいろいろ多くの補助金がカットされています。その辺は中期財政計画の具体化なのかどうか。確かにそれ以上に厳しくなっておっしゃっていただいても、それを実行するためにこういったもろもろのことを行ったのかということをお聞きしているんです。それは見直さないといけないということはおわかりました。その間は具体化ですかということですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 中期財政計画においては、補助金のカットとかそういった歳出削減については個別では持っておりませんでした。そのため今回の平成31年度の予算編成において、補助金のカット、三役の給料のカット、管理職手当のカット等は平成31年度の予算編成において状況の変化が出てきましたので、中期財政計画ではなく予算編成の中でそういったことで編成を余儀なくされたということでもあります。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 ということは、(2)にも入りますけれども、この中期財政計画のシミュレーションの中で平成29年度から累積赤字の解消ということで、29年度に10億円、30年度で3億8,700万円、31年度で3億円と、これは赤字の分だけですね、当年度のものが入っていないと思っておりますけれども、そういうふうに累積赤字の解消をしていくということですが、それも見直していくということですよ。私が質問したのもそういう趣旨です。この平成31年度までの3億円がここまで赤字解消するんじゃないかと、もっと長期に返還をしていくということであれば、もっと少なく済むんじゃないかと。例えば、今年度3億7,000万円ですけれども、2億円にしておこうとか、1億円にしておこうとかというふうになれば、それだけ負担は少なくなるわけですが、単年度単年度で見れば、累積赤字が消えるわけではないので。そのことを今、やっているわけです。私の質問は、ですからここでは計画を見直しますといたしておりますので、その中でやるということなのか。ということは、今年度も同じような3億7,000万円余りを平成30年度は返すということですか。

か、そのとおり。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 まず地域財政計画においては、平成31年度3億8,700万円の法定外繰入を行いまして、残り32年度に3億円赤字が残って、32年度に3億円補?して、それで累積赤字がなくなるという計画でありましたが、今回3月補正で平成30年度は計画どおり3億8,700万円を繰り入れいたしました。残り本来なら3億円という計画でしたが、今回平成30年度補正後は5億4,000万円ということでふえております。また平成32年度の当初予算で1億3,600万円、単年度で収支不足が出ていますので、この計画時点よりも国保の赤字見込みが状況の変化で変わってきていますので、それに対応すべく、今後地域財政計画、行政改革の中で国保の赤字の補?についても再度見直しを行っていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 今、部長がおっしゃっているのは単年度の赤字も全部含めてのあれでしょう、返還の話は、違いますか。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時38分）

再開（午前10時39分）

○議長 知念富信君 再開します。総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 累積赤字についても、実際ことし3億8,700万円返したら3億円という予定でしたが、今回5億4,000万円ということでふえています。ですからそのことから累積についても今後繰り出しの考え方について行政改革検討委員会で見直しを行っていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 是非、平成31年度ぐらいまでに返すというシミュレーションがあるので、それを見直すということですので是非見直しをし、スパンを長くしたほうがいいと思います。そのほうが単年度単年度で抱える金額は少なくなりますし、それは是非見直してほしいと思います。

それともう一つは、三役のカットについても単年度ではなくて、是非その期間中見直さなかったら、是非その中で、もっと長期的に財政がよくなるのであれば、私はカットすべきだと思います。それだけ町民の皆さん方の補助金もカットしているわけですから、教育長も含めカットすべきだと思います。財政状況を見ながら検討しますということですが、なぜ皆さん方、去年はボーナス、賞与を上げておいて、今度は給与カットと、何か一貫していないというふうに思います。あのときには気づかなかったのか、あのときからわかっていたと思います財政が大変だというのは。だったらずっと回復するまでカットしますと、条例改正をすると、要するに附則ではなくて、それぐらいやってほしかったと私は思います。今度検討ということですので、是非その辺は附則でやるんじゃなくて条例でちゃんとカットしてやってほしいと思いますけれども、その辺は検討するとしていきますので、検討してほしいんですけども、どういうふうに思いますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 行政改革検討委員会の中ではさまざまなことを、歳入削減、歳出増、いろんなものを検討していく予定であります。その状況、いろんな工夫を凝らしてこの行革をまとめていくんですが、そのできた、まとめたときに、それについては町長、三役が適宜判断されるものだと考えております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 それは三役が判断しないとカットもできないでしょうけれども、部長がカットするわけにはいかないし、是非その辺は町民に、言い方に語弊があるか、恥じないような感じでやってほしいと私は思います。町民からの住民税の徴収率99.7%、各種団体の補助金のカットとかあって迷惑をかけているわけですから、その辺は是非やってほしいと思います。

最後に不法投棄についてですけれども、監視カメラ設置の要請をしましたということ、私の質問も是非監視カメラをしてほしいと。もう後を絶たないんです。向こうも草刈りの掃除もそんなに頻繁にあるわけではないので、車どめの石のブロックみたいなところの後ろに隠したり、草が繁茂しているその中に隠したり、すごいです。犬が来て散らかす。私なんかはほうきを持って行って掃除でもしようかと思うんだけど、じゃあそのごみはどこへ持っていかと。袋に入れてこっちに置いたら私が大変なことになりますから、じゃあ家に持って帰るか。あれは皆さん方は、ここをずっと、今度の施政方針でもあつ

3月25日（第6号・22日目）一般質問

たけれども、重点的にパトロールをすると、不法投棄のあるところは。というふうにおっしゃっていますので、是非その辺は気をつけてやってほしい。いまだに散らかしっぱなしです。向かいの店舗の皆さん方が捨てているかどうか、これはわかりません。向こうではないかもしれませんが。ただ、向こうの店舗のほうも営業ですので、普通のごみとしてじゃなくて、契約して持っていかないといけないですよ。向こうの店舗は全部、そういった営業用のごみとして契約はされているんですか。その辺を調べたことはありますか。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 答えします。直接事業所に確認したら、何カ所かは契約されているみたいですが、あと個別に持ち帰って、家庭系のごみで出しているところがあるみたいです。それで職員が回って、事業系のごみはちゃんと契約書に基づいて、適正に処理をさせていただきますということで指導はしております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 是非、そういった業者というか、企業にはそういう事業系ごみとして契約して持って帰るようにというふうに指導を是非やってほしいと思います。以上で終わります。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時45分）

再開（午前10時56分）

○議長 知念富信君 再開します。

通告書のとおり順次発言を許します。10番 浦崎みゆき議員。

〔浦崎みゆき議員 登壇〕

○10番 浦崎みゆきさん 皆さんこんにちは。平成最後の一般質問を行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは読み上げて、一括質問、一括答弁をいただいた後に個別で質問を行います。よろしくお願いいたします。

まず、児童虐待防止について。（1）児童相談所が対応した件数の中で本町の数は把握しているか。（2）本年より2022年度までに子ども家庭総合支援拠点を全市町村に設置するが、本町の対応はどうか。（3）本町で行っている対策はあるか。（4）千葉県野田市で起きた事件は連絡体制の不備が報道されているが、本町の教育委員会の体制はどうなっているか。

大きな2番、未婚ひとり親支援の状況は。（1）本町の未婚ひとり親の推移はどのようになっているか。（2）未婚ひとり親支援はどのようなものがあるか。（3）本年度並びに今後の支援計画並びに内容はどのようなものか。本町はどのように取り組んでいくのか、お伺いいたします。

大きい3. 子育て支援を問います。（1）本町の待機児童数は幾らか。（2）待機児童ゼロの取り組みはどのように進んでいるか。（3）保育コンシェルジュ（利用者支援専門員）の果たす役割はどのようなものか。

大きい4. 防災・減災について。（1）福祉避難所はどのように進んでいるか。（2）国の示す自治体インフラの老朽化対策として防災・安全交付金があるが本町の活用はあるか。（3）放課後児童クラブ（学童クラブ）に対する防災対策はどのようになっているか。以上、よろしくお願いいたします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の児童虐待防止について。（1）についてお答えします。中央児童相談所において、虐待相談を受けた件数のうち、本町の件数は平成27年度が372件中7件、28年度が407件中3件となっています。

（2）についてお答えします。子ども家庭総合支援拠点については、去年の5月から地域福祉推進計画の見直しの中で議論をし、設置に向けて第2次計画に方針を明記しております。

（3）についてお答えします。本町では、毎年11月の児童虐待防止推進月間において、町広報にて周知を図るとともに、ポスター掲示や窓口でリーフレット配布を行い、児童虐待への早期発見と通報の施しを行っております。また保健師が行っているさまざまな妊産婦支援事業から得られた情報をもとに、特に支援が必要な若年妊婦や産前産後うつなどの方針を対象にして、福祉的支援へとスムーズにつなげる連携体制を整え、児童虐待防止の対策強化を図っております。

3月25日（第6号・22日目）一般質問

質問事項2点目の未婚ひとり親支援の状況の（1）についてお答えします。未婚ひとり親の推移につきましては、3カ年の推移では各年8月時点で、平成28年が64人、29年が59人、30年が58人となっています。

（2）についてお答えします。本町では、ひとり親世帯への支援と同様に、未婚ひとり親世帯へも各種支援を行っています。例えば学童クラブ保育料減免や保育園の利用者負担額等減免などがあります。

（3）についてお答えします。今後も未婚ひとり親支援は現在の施策を継続実施してまいります。また平成31年度は未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時特例給付金1万7,500円の支給が平成32年1月に予定されていますので、県と連携して事務を進めてまいります。

質問事項3点目の子育て支援を問うの（1）についてお答えします。平成31年度入所に関する本町の待機児童数は、3月11日現在で261人となっております。

（2）についてお答えします。待機児童ゼロの取り組みに関しまして、平成31年度に90名定員の認可保育園を2つ新設し、平成32年4月開園を目指します。また150名定員の認定こども園も来月開園に向けて準備を進めています。さらに小規模保育園についても新設に向けて取り組んでまいります。

（3）についてお答えします。コンシェルジュにつきましては、窓口にいらした方に対して保育園入所の手続方法やその他一時預かり事業、子育て支援センターなどの利用案内、また認可保育園等に入所できないお子さんには町内外の認可外保育園等の情報を届けるなど、保護者に寄り添った支援を行っています。

質問事項4点目の防災・減災について。（1）についてお答えします。町防災計画では、避難生活が長期化する場合等、要配慮者が介助や生活相談等を受けられ、安心して避難生活ができる体制づくりとして福祉避難施設の設置を検討すると規定しています。現在、乳幼児とその保護者を対象として認可保育園14カ所、また医療的ケアが必要な要配慮者を対象として沖縄第一病院と福祉避難所設置に関する協定を締結しております。

（2）についてお答えします。平成28年度、29年度に南風原町内の橋梁長寿命化点検業務を実施しております。平成31年度は点検結果に基づき町道68号線照屋橋の詳細設計を予定しております。

（3）についてお答えします。学童クラブの防災対策につきましては、毎年防災・防犯対策に関する計画書と避難訓練計画の提出を義務づけており、全ての学童クラブで計画に沿った避難訓練が実施され、その報告書も事業実績で提出されております。以上です。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項1番目の（4）についてお答えいたします。教育委員会の体制としては、教育相談員連絡会や南風原町要保護児童等対策地域協議会の個別ケースの会議において、それから町のこども課、県の児童相談所、町内小中学校等と連携し、情報の共有化と連絡体制の強化を図っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 答弁ありがとうございます。それではまず、1番の児童虐待防止について伺いたします。本当に悲惨な事故が後を絶たないわけでありましてけれども、今回は特に沖縄に関連した事件だったということで、皆さん本当に関心を持って聞かれていることだと思います。二度とそのような事件が起きないように本町の体制を一般質問しているところであります。

まず1番目の人数、中央児童相談所7件と、それと平成28年度には3件、虐待の相談に行かれている方がいらっしゃいます。その中で本町においても通告や相談の受け入れはやっているものだと思いますが、まずやっているかどうか、そこと7件、3件に関して本町に連絡等はあるのか、そこを確認します。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 まず本町も当然窓口となっておりますので、本町のほうにもそういう虐待等の相談はあります。またこの平成27年度の7件、それから28年度の3件と、児相からもきちんと報告が来て、また町のほうではそのあたりを要対協とか、そういった部分でしっかり対応等を協議しているという状況でございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。しっかりと把握をされていて、その後の支援体制もできているということがわかりました。本町の窓口に来た件数、そこはどのような状況でしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。



3月25日（第6号・22日目）一般質問

○民生部長 知念 功君 平成30年度の今現在ですと、疑いとかそういったもの全て含めて18件の相談がありまして、鳴き声の通報とか、あるいは身体的虐待の疑いがあるとか、心理的虐待の疑いとか、そういったもの全て含めて18件あります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。その18件も含めて今おっしゃった要対協、その辺の支援に全て結びついているということによろしいですか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 それぞれの案件について、相談員がしっかり相談を受けながら、必要性がある方については要対協につないで支援していくという形になります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん その中で、今18件、どれぐらいの割合がそこに結びついてますか。何件でもよろしいです。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 今現在の、先ほど申し上げました18件中4件が重い案件と捉えていまして、要対協につないで対応しているという状況でございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。やはり南風原町においてもゼロではないということを確認できました。やはり皆さんがそのように相談事業に乗って、またしっかりと支援していただくことによって防止になっているかと思っておりますので、そこら辺の体制、また今後も続けていっていただきたいと思っております。

(2)でございますけれども、これは設置に向けて第二次計画とありますが、この第二次計画はいつごろの予定でしょうか。その第二次計画にしか取り上げられないのか、これは大事なことだと思いますので、もっと早目にそれができないのか、この子ども家庭総合支援拠点はどういった虐待問題に関して支援を細かくやっていくということで、妊娠中の女性や子育てに悩む保護者の、そういう危険因子を取り除くということで提案をされている支援拠点であります。そういう意味からすると、設置に向けて取り組んでいることはいいんですけれども、早目の対策が必要だと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。まずこの地域福祉推進計画、第二次の計画については昨年12月定例会に上程しまして議決いただいた、第二次の町の福祉推進計画で、この4月1日から二次がスタートします。その計画の中にもしっかりと子ども家庭総合支援拠点について書き込んでいるということで。まずその拠点となる場所等の設置については、これから2022年度までに全市町村設置ということですので、我々もそこはこの計画の中で示して、そして新年度でまた策定する子ども子育て支援事業計画の中で、またそういった年次的な取り組み等もはっきりさせていくと。ただ本町の体制としては、子ども家庭総合支援拠点についての、子どもとその家庭や、あるいは妊産婦等を対象とした実情の把握とか、相談体制とか、継続的な支援については、それぞれこども課や保健福祉課、社協とそれぞれ連携して取り組んでいますので、ほぼこのような子ども家庭総合支援拠点の役割という部分ではできてきているということでございます。そして本町においては、また相談体制の強化ということで、今度の4月1日からは専門職、社会福祉士の本務の職員も1人こども課のほうに増員配置していきますので、そういった体制の強化の部分ではできてきているということで、それがまたいつここが支援拠点ですというふうな、組織の体制等も検討しながら取り組んでいきたいと思っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。すみません、じゃあ、この二次計画というのは4月からということですね、失礼しました。部長がおっしゃった社会福祉士も今度こども課に配置してということですが、以前も、施設をつくりなさいということではないんですけれども、しなくてもいいとうたわれておりますし、以前に南風原版のネウボラも同じような感じで本町としては確立しているということでご答弁をいただきました。今回はそれプラス防止の観点からは同じような暗示ではあるかと思っておりますが、プラス虐待防止というところに重点を置いているのが今回の特徴でございますので、そういったところも踏まえて中の体制は早急に、ある意味専門的なのか、職員を専門的に対応していただく方を置いていただいて、しっかり対応できるような体制を是非とも早目にお願いをしております。

それで児童相談所に相談が来たのは四百何名かのうち3名、7名ですけれども、私が調べた女性相談所に行かれた平成27年度では100名の方が相談に、女性相談所ですね、いわ

3月25日（第6号・22日目）一般質問

ゆるDVの相談がそのうち73人という数字がありまして、これは平均的に、余り変動はないような感じで受けとめています。今回の事件もDVがあつて、母親として何もすることができなかつたというところも報道の中にありまして、やはりこのDVは虐待との関係にかなり深く結びついているところだと思っておりますので、この辺の体制を、相談がしやすいような体制、そこら辺は民生委員などのお力もいただいて支援につなげていただきたいと思いますと思うんですけれども、それに関してはいかががでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 我々もしっかり、そこはどんな些細な情報も見逃さないような形で、地域で活躍される、支援される民生委員、それから社協のコミュニティーソーシャルワーカー、あるいは施設の方々とか、たくさんそういった地域でかかわる方々がいらっしゃいますので、しっかり連携して、些細なことも見逃さないような形でDVも含め、虐待対応等、しっかり対応していきたいと思えます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それではよろしく願いいたします。

そして(3)の本町が行っている対策でありますけれども、今おっしゃったいろんな総合支援的なものと、また若年妊婦のそういう元気ROOMも含めた支援体制が本町には整っていて、またスタートするということですので、しっかりと地域の皆様との連携をお願いしたいところでもあります。答弁にもありましたポスター掲示、11月の児童虐待防止月間で皆様にもお配りを行っている189（いちはやく）というパンフレット、これはどこからかけてもお近くの児童相談所につながる番号となっておりますので、そこら辺の周知の徹底を、現在も行っているということですが、さらなる強化のほうで、こういった先ほど申し上げました子ども家庭総合支援拠点に対しても、そういうものが南風原町はできているということ、お知らせだとかパンフレットの周知徹底を是非、月間もしくは皆さんの話題となっているときにホームページなどに上げていただくと、皆さん非常に興味を持たれて見られるのではないかと思いますのでよろしく願いいたします。電話での189（いちはやく）でございますけれども、ことし2月の補正で予算も計上されていまして、準備が整い次第、これまでは通話料が出たわけですが、電話をするに際して。それが無料化になっていくという情報もお伺いしておりますので、そこら辺も無料ですという周知徹底を是非お願いしたいと思います。あと一つとしては、是非行っていただきたい提案でございますけれども、ホームページの中に、今、本当に相談事業が解決への早道でございますので、全ての点において、前回の議会でも相談窓口、1階のほうでしっかりやっているということでありましたけれども、なかなかわかりづらい。それで私が思うにはホームページの、相談窓口という一コマをつくっていただけないかということ。はえるんコーナーだとかいろいろありますけれども、そのコマを1つつくっていただいて、そこから入っていけば相談窓口、どんな相談窓口にも広がっていくようなことができないかということで、本当に相談をすることが一番の解決の近道ですので、そしていろんな機関へつながっていきますし、いろんな面で防止策と捉えられると考えておりますが、その件について見解をお伺いします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 貴重なご提言ありがとうございます。我々もこちらが相談窓口ですよの周知というのは大変重要視しております。この虐待のみではなくて、さまざまな子育て支援を含めて、以前も浦崎議員からご提言等がありました子育てのアプリ活用とか、そういったものも含めて、そういったものの中で、またこういう窓口の開設とかもできるのかとか、それもまたしっかり検討して、相談しやすい、いつでもすぐ相談できるという部分ではホームページの中での開設も有効だと思いますので、この子育て関連のアプリ等の導入の中でもしっかり検討して取り組んでいきたいと思えます。また、児童虐待防止推進月間のみではなく、議員おっしゃいますように、日ごろからいち早くの情報提供とか、いろいろな場面で周知徹底等を図ってまいります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。特に若年妊婦とか産前産後のうつだとか、そういうふうにしてしっかりと窓口も整えているんですけれども、やっぱりわかりづらいし、前回質問いたしました地域包括支援センター、またたどっていけば開くんですけども、なかなかどこに相談するというのが、そのホームページ上見つからないので、あつたらいいなという思いがありますので、できるだけ早目の開設をお願いして

(3)を終わります。

(4)です。教育委員会の答弁でございますが、いろいろな機関と要対協、要保護そう

3月25日（第6号・22日目）一般質問

いったケースを個別ごとに行っているということですが、現在、連絡体制の強化を図っているということですが、まず質問したいのはどのぐらいのペースで行っているのか。そのケース会議において、糸満市におきましては記録がなかったということも言われておりますし、ペースと記録はどうなっているかお聞きします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 教育委員会の体制ですけれども、答弁にありました教育相談員連絡会については毎月行っているんですけれども、これとはまた別に学校のほうでも各担任の先生について、小学校のほうでは学年ごとのケース会議でありますとか、それから中学校だと教育相談員を含めたケース会議等が大体1週間に一遍ぐらいですね。その辺をまとめて先ほどの教育相談員の連絡会等がうちのほうで行われているというペースであります。その連絡会についてはこども課の子どもROOMの支援員であるとか相談員であるとか一緒に交えて、その辺の情報の共有をしているというところがございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。今回のニュースを見て、改めて教育委員会という体制を考えられたことがあるか。それとも今のままの体制なのか、そこら辺を確認いたします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今回の件で、まず一番最初に、校長教頭連絡会があるんですけれども、それから園長等ですね、その辺にも、まず一番身近な担任が虐待等の兆候が発見できる形になりますので、その辺の見落としがないようにしてほしいということと、それから生徒指導の連絡会とか教育委員会の体制ですね、その辺も強化してほしいということでのお願い、それから指導をしております。もう一つ、今回連絡体制の話で言われているところの威圧的な形の体制についても、再度、教育長のほうからもお話があって、そういうことにおいては毅然とした態度で、裁判であれば裁判という形を、脅かされることのないようにやっていただきたいというお言葉もありまして、我々のほうとしてもその辺についてはまた職員のほうにもそういう指示をしております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。教育委員会もしっかりとそこら辺は、今回の事件を受けてまた話し合われたということが確認できました。やはり新聞報道では当時通っていた糸満市の小学校での情報が一部にとどまって、結果的には対応が不適切だったのではないかと問われているわけですが、また転校していったところへの申し送りだとか、そこら辺の連携が一番大事だと思っております。そして今おっしゃった庁内こども課とか、それから学校との連携を図っているということですが、そういった会議を持つときに、先ほども述べましたけれども、女性相談所に相談が来ている件数、本町の。そこら辺の数字も把握していただいて、総合的な観点から進めていただきたいということも思いますので、その辺についていかがなのか。それで先ほど個別ケースの会議において記録はどうかとお伺いしたと思うんですけれども、これも答弁お願いいたします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 記録については、その会議に参加した担当のほうでしっかりと残しております。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 先ほど提案のありました会議の持ち方についても、再度こちらのほうで、先行してこども課のほうとか福祉部門のほうでいろいろ進めていますので、教育委員会の部分は教育委員会で、今分けて会議はしておりますけれども、再度、強化ができるかどうか検討しながらやっていきたいと思っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 是非とも、その強化に関しては、やはり別々に行わず、1つのテーブルについてやっていただきたいということの要望を申し上げて、本当に子供の健全な成長を是非教育委員会の責任のもとにしっかりとやっていただきたいことを申し上げて、この質問を終わります。

次に未婚ひとり親支援についてですけれども、数をいただきました。まず、数の把握の仕方ですけれども、これは本町ですぐわかるものなのかどうか。また未婚なのかどうかというのは本人の申請によるものなのかどうか、そこら辺を確認いたします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 数の把握につきましては、児童扶養手当を申請する際に、添

3月25日（第6号・22日目）一般質問

付書類に戸籍添付がございますので、そこのほうを確認して全部実数として抑えられます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それでは申請せずに町のほうでわかるということがございますね。今、那覇のほうでは漏れている、受給対象者に対して申請が少なかったという報道がありましたけれども、本町はどのような状況なのかをお願いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 本町としては、対象者全員に児童扶養手当が支給されているところでございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それでは、数はしっかりと把握されていて、皆さんに行き届いているということでございます。

続きまして、未婚ひとり親の支援ですけれども、答弁でひとり親世帯と、支援と同様にとありますけれども、現在行っているものもひとり親世帯と同様な支援が未婚のひとり親世帯に対しても行われているのかどうか、保育園の減免とか利用者負担の減免などがありますけれども、全てが適用されていると考えてよろしいですか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 保育料に関しても、減免取り扱い要領のほうにしっかりと明記してございますので、さらにまた学童クラブのほうも減免措置がございますので、同じような取り扱いで対応しております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。この未婚ひとり親世帯に対するの支援策で内容をですね、ひとり親世帯はこういったものがあるよという案内とか、こういったものができますとか、例えばひとり親世帯に対する日常生活の支援事業の利用料が減免になりますとか、全てそういう案内は、結局こういう制度があって使えますという案内はされているのかどうか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 新生児、毎年1回は現況届がありますので、その際に案内しておりますし、学童であれば、学童のほうでもさらに案内をかけておりますので、そのほうは周知できていると思っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。それは制度的なものは全て案内をして、しっかりとやっていただいているということがわかりました。未婚であっても、寡婦であっても同じようにお子様がいるわけですから、同じような体制でやっていただいていることは、本当に南風原町の誇りだと思いますので、国は去年あたりからそういうふうになっていきましたけれども、先んじてそういうふうにはやっていただけていることは本当にありがたいと思います。またそういった福祉の精神をしっかりと今後も続けていっていただきたいと思っております。

答弁にもありました1万7,500円の支給が1月にされるということ、そういったふうに国のほうとしても充実をしておりますし、また2020年、来年ですけれども、住民税も非課税に持っていくような流れになっているようでございますので、そこら辺の情報の周知徹底もしっかりとよろしくお願ひしたいと思います。そういった減免に対しては手元の現金を出すのが減るわけですから、ひとり親にとっては現金給付に値する重要な施策であるということの指摘もありますので、今後とも今の体制でよろしくお願ひを申し上げまして、この質問を終わります。

続きまして、子育て支援の体制ですけれども、現在、待機児童は261名と、先日の大城勇太議員にはプラス67名ふえているということで、本当に頭の痛い問題でございますが、仮に、現在認可保育園が14ありますが、この14園の保育士が足りなくて待機児童がふえている部分もありますよね。その保育士を補充した場合、仮に何名補充した場合、待機児童はどれぐらい減少になるのか、その辺がわかればお願ひいたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 14の認可保育園に確認をとりまして、現在、3人の保育士が足りていなくて、16名の子供が受け入れできないという状況であります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。16名が待機児童の中から減っていくということですので、やっぱり一番問題なのは保育士の確保ですけれども、各園とも経

3月25日（第6号・22日目）一般質問

営方針が違ふというところもありまして、保育園任せですけれども、町としての取り組みというものは何か具体的にありますか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 町内の認可保育園は11月ごろに新卒の保育士の養成校に対してオープン保育の案内をします。早いうちから認可保育園を案内すると保育士確保につながるということで、そのあたりの後方支援を町としてはやっております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん これまでのことに関しては、かなり先進的なことでやられていたと思いますけれども、ほかに方法は本当にないんでしょうか。それでもって、案内をかけても園長会からの要望の話では本土に持っていかれるということで、自分たちのところに案内、視察に来て、結局向こうに持っていかれることが多いということですので、本当にそこら辺の支援を、このままでいいのかという思いが私はあるんですけども、再度ほかの手だてがないのかどうかお伺いいたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 町だけではなくて、国を挙げて保育士の確保についての支援をしているところをございまして、いろいろな補助メニュー、こういったものがありますということも町もしっかり認可園に情報提供して、スムーズに補助事業、補助メニュー等を活用して保育士の確保につながるような取り組みをしております。例えば保育士の日ごろの業務の軽減ということで、事務の軽減の部分、ICTを導入して登降園システムによる管理とか、そういった部分でも本町では平成28年から随時各園取り組みを始めていまして、ほとんどの園がそういった登降園システムも整備していると。あるいは保育補助者の雇いあげとか、そういった部分での補助事業もありますので、その活用もされているとありますので、ほかにどのようなものがあるかいろいろまた研究して、認可園と連携して取り組んでいきたいと思っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。本当に苦しいご答弁でございますが、ありがとうございます。今回、来月からですか、認定こども園が261名ということですが、小規模も含めて新設に向けていくわけですけれども、このこども園ができることによって待機はどれぐらい減るとかの数字は出ていますか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 この261名というのは4月1日入所時点での待機ということで、開設します認定こども園は4月1日オープンでもう既にこの部分は反映されての261名待機ということでございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 失礼しました。ありがとうございます。すみません、お聞きしたかったのは、この認定こども園ができることによって待機児童にも反映されたかどうかというのを、再度お聞きいたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 この認定こども園の中で2号を認定の対象として、60名の枠がございますので、その分は待機児童解消につながったということになります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。60名減っても、要するに残りが261名いるということですね。わかりました。またしっかりといろいろな知恵を出し合って頑張っていきたいと思っております。

(3)の保育コンシェルジュの件でございますが、これまでもそういった取り組みがなされて、やはり保護者の皆さんには喜ばれていると思っておりますが、支援員の配置によって保護者からの反応事例などがあつたら教えていただきたいと思っております。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 毎年本町は1月から3月までの間、待機児童になられる家庭のお母さん方が窓口へ来られますが、認可保育園に入れない場合の次の手だてとして、認可外とか、その紹介をしてほしいというところがあります。コンシェルジュのスタッフは町内だけではなくて、町外も含めて、特に那覇市ですね。お母さんが働いているところに近い認可外なども調べて情報として提供してございますので、そのあたりから感謝の声は聞かれたりします。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。保護者にとってはそういう情報が得ら

3月25日（第6号・22日目）一般質問

れることは本当に精神的に、いろんな道があるということもまた情報として得られますし、今後の活躍も期待をしたいと思います。この質問は終わります。

次に防災・減災についてお伺いします。東日本大震災から8年目の3月を迎えました。災害の教訓を生かすべく、防災対策を一つ一つ積み上げていきたいと思っております。このたび町の一般報告のほうで第一病院と医療ケア児、災害時における協定が結べたことは本当に喜んでおります。当事者、家族の方も安心していただけていると思っております。これまでの努力に対しまして本当に敬意を表したいという思いでございます。

ここで質問ですけれども、関係者に対しては今後どのように周知をしていくのか。今後の流れについてお伺いをいたします。それからケア児だけではなくて、例えば酸素吸入をなさっている方、電源を必要とする方々もこれは使えるのかどうか、そこら辺をお願いいたします。それから保育所における福祉避難所はどのような形で運営をされていくのか、お願いいたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 休憩をお願いします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前11時44分）

再開（午前11時45分）

○議長 知念富信君 再開します。民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えします。まず災害時に配慮が必要な方々、そういった福祉避難所等の利用が必要な方々に対する周知についてはこれから検討してまいりたいと思っております。この周知の方法については、やはり残念ながら、これまで他府県であります災害時において福祉避難所が使えなかったとか、そういった情報等もありますので、いろいろ研究してその周知の方法は検討してまいりたいと考えております。それから医療的ケア、第一病院との協定に関しましては、医療的ケア児のみではなくて、医療的ケアが必要な要配慮者ということで協定を結んでおりますので、議員がおっしゃいますような酸素吸入の必要な方とか、そういった方々の利用ができるような協定となっております。それから子育て世代等の避難所としての14の認可保育園の活用ですが、運営方法については、その都度またこの協定の中ではいろいろ協議していくということをしておりますので、今後どのようにして運用していくのか、その辺をしっかりとこれから取り組んでいきたいと思っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。本当にいろんな問題が、まずは協定を結べたことが第一歩でありまして、スタートとなるわけですけれども、いろんな方法があって、うまく運営をしないと、またそこがパニックになってしまうということがありますので、そこら辺はよろしく、今後とも各関係者の方、対象者の方も交えながら、是非進めていただければありがたいと思っております。その辺は終わります。

次に（2）です。これはこの間、議員の現場調査にも行きました68号線の照屋橋ということでございますが、点検した結果そこになったということですので、ほかにも検討すべき箇所があったのかどうかお伺いいたします。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 答えします。点検業務を、平成28年と29年に行っております。町道における58橋を点検いたしました。その結果、健全度の状況を調査するわけですけれども、照屋橋のみが判定が段階的に4段階といたしますと、3段階で早期処置との判断が下りまして、それで照屋橋をこの事業で、基本的には架けかえになると思っておりますけれども、架けかえていくということになりました。ほかのところは健全のところと、予防保全段階というのがございます。それはちゃんと経過を見ていきなさいという状況で、緊急に架けかえるとか、この事業をもって修繕をするというレベルのものではなかったということでございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 現場調査をしたときに、同僚議員からも指摘がありましたけれども、現状での設置ではなくて、川の幅員に合わせて設置するべきだと私も思うんですけれども、その点についてはどうでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 これは下水道の位置づけもされておりますので、この辺は担当課と調整して、ちゃんとできるものができるようにやっていきたいと思っております。

3月25日（第6号・22日目）一般質問

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 直すわけですから、この機会をしっかりと生かして、よりよいものにしていただきたいと思います。

それでは（3）の放課後児童クラブの件でございますが、これは訓練等はやっておりますけれども、町の対応というか、そこら辺の条例だとか、そういったマニュアル作成の手助けだとか連絡体制の、そこら辺になっていると思うんですけれども、これに対しての見解をお伺いいたします。そして改めてこの学童クラブに対しての調査などの現状を把握する必要がないのか、以上、質問いたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 まず、児童クラブの災害時の避難訓練や計画については、本町の条例において南風原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の第6条第1項のほうで規定されております。放課後児童健全育成事業者は消火器等の消火用具、非常口、その他非常災害に必要な設備を設けるとともに、非常災害に対する具体的計画を立てて避難及び消火に対する訓練を定期的にこれは行わなければならないということで条例で規定しております。ですから、まずこの学童クラブを運営する事業者に対しては、しっかりこの条例を遵守して、その計画を立てまた定期的に訓練をするようにということで、我々も指導をしております。議員おっしゃいますような、そういったマニュアル作成のアドバイスとか我々ができる部分に関しましては、しっかりと相談を受けながら、できる部分に関しましてはまた支援をしていきたいと思っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。今部長は要請があればとおっしゃったのかな、そうではなくて、積極的に対応していただきたいと思います。なぜかというふうにも思いますので、できれば調査などをしていただいて、現状把握とともにそういったマニュアルを1つつくれば、皆さんまたそれに沿った自分たちなりの対応ができると思っておりますので、本当にこの防災・減災のことを強く認識をしていただきまして、また大切な子供たちの命を守るために、何ができるのかとも考えながら頑張っていただきたいと思います。以上、質問を終わります。

○議長 知念富信君 暫時休憩します。

休憩（午前11時54分）

再開（午後0時59分）

○議長 知念富信君 再開します。

通告書のとおり順次発言を許します。2番 新垣善之議員。

〔新垣善之議員 登壇〕

○2番 新垣善之君 こんにちは。2番 新垣善之です。最初に質問、答弁をいただいた後にまた再質問いたします。

設問1. 南風原バイパスと南風原北インター周辺の開発を問う。（1）南風原バイパスの工事進捗状況と、供用開始はいつごろを予定しているのか。（2）南風原バイパスの大名、与那覇地域の側道沿いを用途変更できないか。

設問2. 東部消防組合庁舎建設と火災警報器の普及を問う。（1）東部消防組合庁舎耐震診断の結果を受け、新庁舎建設の計画・立案はできているのか。（2）本町の住宅用火災警報器の普及・啓発の取組は、どのようにして行っているのか。また、後期高齢世帯に対しては、補助金を出して設置を促してはどうか。

設問3. 学校給食と中学校制服を問う。（1）食品や調味料など値上がりする中、学校給食の質や量に、今後どう影響していくのか。（2）中学校において性的マイノリティーへ配慮した、制服の選択制を導入する予定はあるか。

設問4. 国場川の河川管理状況を問う。（1）当間橋付近の川に、土砂が堆積している。これからの雨季に備え、対策を講じてはどうか。お願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の南風原バイパスと南風原北インター周辺の開発を問う。（1）についてお答えします。南部国道事務所に確認をしたところ、南風原バイパス側道が字新川からイオン南風原までの区間が3月21日に開通をしました。本線の開通についてはまだめどが立っていないとの回答でありました。

（2）についてお答えします。市街化区域では住居地域等用途の指定がありますが、ご

3月25日（第6号・22日目）一般質問

質問の大名与那覇地域の側道沿いは市街化調整区域で用途指定はありません。

質問事項2点目の（1）についてお答えします。庁舎耐震診断の結果を受けて東部消防組合本部新庁舎建設の必要性については、関係町3町において確認をされております。しかしながら、具体的な計画等の立案までには至っておりません。

（2）についてお答えします。東部消防組合による住宅用火災警報器の普及・啓発の広報などは協力して行っています。平成18年の消防法改正以降、同法の規定及び東部消防組合の条例規定により設置を義務化されていること、新築住宅の所有者は自費で設置していることなどから町民全体の公平性を考慮すると、町による後期高齢世帯への火災警報器設置補助金の支出は厳しいと考えております。

質問事項4点目、国場川の河川管理状況の（1）についてお答えします。河川管理者の県へ維持管理の徹底を要請してまいります。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項3番目、質問要旨（1）についてお答えいたします。学校給食に使用する原材料費の値上がりについては、次年度も賄い材料費へ一般財源から補助分1,393万2,000円の計上や、メニューの内容、仕入れ先の工夫等により対応をしております。

続きまして、（2）LGBTなど性的少数者への配慮や多様性の尊重の観点からも制服の選択制については必要性を認識しておりますので、検討をする時期にきていると考えております。以上です。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。先週3月21日木曜日に、国道329号南風原バイパス側道部の一部開通式が多くの関係者や地域の方々の出席のもと盛大に開かれました。その中で沖縄総合事務局、南部国道事務所によると、南風原与那原バイパスの開通によって期待される効果として3点挙げておりました。まず1つ目に、幹線道路、ネットワークの形成による国道329号の渋滞緩和並びに物流、観光などへのアクセス向上、2つ目には、中城マリンタウンプロジェクトや大型商業施設の誘致による地域の活性化、3点目には、救急医療活動の支援、この3つを挙げておりました。現在、国道329号の慢性的な渋滞を緩和、そして効率的な移動手段を大いに期待できるものです。また現在、与那覇地域で戦時中の日本軍壕の文化財調査もありますが、早期の開通を期待しています。しかし、側道部の開通において、この3日間、4日間ですが、私自身が感じたことがあります。その式典が行われた付近の交差点部分ですが、町道3号線、宮平から大名給油所へ向かうところ。町道36号線、宮城からサザンプレックス映画館裏手を通り北丘ハイツへ抜けるところ。町道22号線、県道240号線から大名、北丘ハイツを抜ける線。町道170号線、大名集落を抜ける線がありますが、この交差点付近がいろんな線が混じり合っているととても危険だと思いました。今現在は、春休み中で児童も通学はしていませんけれども、新学期が始まると新1年生も入学してきますし、初出勤であったり、いろんな場面から通ってくる、出勤の方々もいらっしゃいます。そういった中でこの春休みの期間中に、教育委員会としてどのような通学路の安全性を確保していくのか、質問いたします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 交通量が変わった部分については、まず我々のほうでも子供たち、それから学校のほうにも注意喚起を行っていきたくと思います。またあわせて交通の激しさであるとか、量がどのように変わったか、再度こちらのほうでも目視等含めて確認させていただきたいと思っております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。この3日間、4日間のうちで私も各方向から通ってみたんですけども、やはり新川から勾配のある下り坂であったり、大名方面、宮平方面から右左折してくる車であったり、やっぱり今慣れていないせいかいろんな表示があって、わかりやすくやってはいるんですけども、子供たち…、大人も急いで行く場面もあると思うので、そこを地域の方々と交通安全道路マップですか、何かをこの春休みの期間中に地域の方々であったり、学校と通学路の通り方をしっかり練っていけると子供たちも安心して通学路を通れるんじゃないかと思っておりますので、その点、しっかり連携しながらよろしくお願ひします。

続いて（2）は、南風原与那原バイパスの本線が完成すれば、道路インフラが整備され開通します。物流や観光の流れが出てくるでしょう。そういった中で南風原北インター周辺の都市化に向けて取り組んではいかがでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。



3月25日（第6号・22日目）一般質問

○まちづくり振興課長 金城政光君 お答えします。この地域については、総合計画でも広域商業というような位置づけがございます。今、南インターについては具体的に振興が進みつつありますけれども、北インターについても引き続き検討していきたいと思っております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。少し視点を変えて、津嘉山区域は那覇東バイパスから国道507号、津嘉山バイパスが完成し、南部方面への交通の利便性が向上しました。その中で津嘉山地区の区画整理事業であったり、さまざまな都市化に向けて企画立案がされたと思います。その計画立案がされた時期から現在に至るまで、どれくらいの期間を要しているのか。大体でいいですので、よろしく願います。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 ちょっと合っているかどうかあれですけれども、区画整理事業として認可されたのは平成5年に事業認可をとりまして、平成2年、3年ぐらいからA調査、B調査とかそこら辺もやってきまして、意向調査とかですね。それで具体的に事業認可とったのが平成5年。実質着手できたのが、いろいろと地権者の反対とかそういったことがございましたので、着手は相当おくれて、全体的な換地指定が平成11年ですので、それ以降、13年、14年ぐらいからの工事着手となっております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。やはり計画からすると約25年から30年ぐらいの期間を要してこの地域が動いていくわけですので、これから、今平成30年、もう元号が変わりますが、約30年と考えると、私が今40歳ですので70歳ぐらいになります。なので、那覇地域から与那原方面、西原方面に流れていく物流の観点、観光の観点、南風原が北インターをどう位置づけていくかというのも、今から少しずつ計画していくといいまちづくり、都市計画ができるのではないかと思いますので、今後の南風原与那原バイパスの完成を見ながら都市計画をしていけるといいのかなと思います。よろしく願います。

続いて、大きい設問の2番目の東部消防組合庁舎建設を問うということで、私も消防議員として東部消防に派遣されています。今の現状とご提案と、私なりに考えたことが6つあります。まず1つ目には、本庁舎、本部庁舎と訓練棟が築39年を経過しております。修繕費や改修費がかさんでいると聞きます。新耐震基準以前の建物であり、大災害時には消防庁舎機能及び防災拠点としての役割が維持できない可能性があるかと、これが1点目。2つ目には、構成3町の人口増、平成29年12月末では3町の合計で9万3,346人による救急車出動件数の増もあります。平成30年では4,403件と、それに加えて3町それぞれ高層マンションの建築増により35メートル級のはしごつき消防ポンプ車などの新型車両の配備であったり、消防にかかる予算もかなり上がってきております。3点目には、構成3町の都市計画マスタープランにより道路網や都市計画が大きく変わり、流入人口の増加による災害や救急出動の増加が今後も懸念されると思います。4点目には、平成30年度東部消防組合消防本部庁舎耐震改修簡易検討業務の報告書によると、現況の消防活動や救急出動業務を行いながらの耐震補強は相当困難な工事であると。費用対効果を検討した場合には現庁舎の耐用年数、今39年を経過していますので、残り15年、55年を計算した場合、残り耐震改修の工事費は1億5,400万円を15年で割った場合、年割りすると1,026万円の費用がかかります。また新築、現施設と同等面積とした1,974平米掛ける1立方メートル当たりの予算32万円を耐用年数70年で割った場合には1年間当たり902万円と試算が出ております。

5つ目には、緊急防災減災事業債を平成32年度まで申請できますので、それを活用すると予算の圧縮というのはいかほどの効果があると思います。また6つ目には、財政において、これはできるかわかりませんが、ふるさと納税の寄附者が指定できる使い道の欄には、現在6項目ありますが、そこへ防災・減災、消防力強化というのを挿入したり、民間資金等活用事業をつくるなど、早急に予算の確保のための検討会議を行い、新庁舎建設に向けて実行していただきたいと考えていますが、どうお考えでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 東部消防の庁舎建設につきましては、平成31年度の当初で消防組合職員、我々3町構成の担当職員が調整会議をもって、それについてスケジュール、また財政計画等について議論していく予定となっております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 やはり、今現在の3町の人口増であったり、南風原与那原バイパスの完成によりMICE建設が可能なのか、もしくは中城マリンタウンプロジェクトが実行した場合に、人がふえるに当たって建物、観光がどういうふうにかされるのか。そうし

3月25日（第6号・22日目）一般質問

た消防力がどこまで円滑に、この南風原与那原バイパスを使った、円滑に行えるような環境づくりが大切だと思います。ということで、しっかり予算づけをして、費用対効果でもしっかり出ているわけですので、消防力、生命、財産を預かる感謝というんですか、みんな消防力の強化に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

続いて（2）ですが、住宅用火災警報器の普及啓発ですが、これは消防組合の管轄として理解しました。勉強不足でした。情報としては本町の住宅用火災警報器の設置率は45.1%であります。東部消防組合では構成3町の目標数値を55%と来年度はしておりますので、しかし、高齢者世帯、特に認知症であったり、私たちがそうですが、火をつけたまま、うっかりという場面がありますので、そういったことがないように、被害が拡大しないような取り組み、自治会と一緒にやっていっていると思っておりますが、より高齢者世帯への防災にもっと寄与できるような取り組みが今現在もなされているのか。町から、区長会に対して何か助言だったりがあるのか、お願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 災害については、消防活動に限らず、大規模災害等を含めて、自助、共助、公助でやっていこうということで考えておりますので、常に区長会を通して、また自主防災組織の結成も促しながら、各自治会、地域とは連携しているところであります。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。やはり生命や財産を守ることでありますので、自治会であったり民生委員だったり、ちょっと危ないなという世代の、高齢者世帯にはどうか設置ができるような取り組みがなされるように促していただきたいと思っております。

続いて設問3番目の学校給食の（1）から行きます。平成30年4月から食料品等が値上がりし、さらにことし10月からは消費税10%へと税制改正が行われますが、学校給食に影響はないかということで質問をしましたが、一般財源からも補うということでありました。また今年度滞納額が約800万円程度あり、これについても献立や食料の調達、支払いに問題はないのか、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 滞納額等について、直接影響するものではないんですけれども、おっしゃるような消費税、それからいろんな値上げ等に伴う原材料の値上がり等については、こちらのほうでも非常に注視して、どういうことが起きるのかということ、今いろいろシミュレーションしているところです。ですけれども、基本的に一般財源から補う分を賄えるようにメニュー、それから仕入れ先、それからいろんな給食の、栄養士の工夫を入れて対応しているところです。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 やはり学校給食ということで、昼ご飯をしっかりと、児童生徒、幼児を含め健康管理ですね、値上がりしたからといって保護者から給食費として納付していただくものもありますし、そこのあんばいはしっかりと計算しながら充実した学校給食に取り組んでいただけないかと思っております。よろしくお願いいたします。

続いて（2）中学校において、性的マイノリティーに配慮した制服の選択制を導入するというのですが、現在、制服を採用している県内の県立高等学校58校の中で性別に関係なく制服を選択できる学校は現在3校あります。また新たに平成31年度より25校導入する予定であると。また検討している学校は9校あります。高等学校においても性的マイノリティーや冬場の防寒としての機能性を重視して選択制が広がりを見せています。また学校教育における教材教具の変遷を見てみると、体育着ではブルマから短パン、ハーフパンツへ、色では男子は黒、女子は赤であったが、現在は、学校単位や学年単位で色や柄が統一されています。ランドセルも赤や黒から、今では150種類50色と機能性やデザインが豊富にあります。学校現場において生徒から性的マイノリティーに関する相談があるかと質問したいのですが、あえてしません。なぜなら思春期の子供たちというのはしたくでもできない、相談したいけど人とのかかわりの中で自分が本当に合っているのか、相談しにくい場面がありますので、数的には少ないと思っておりますが、そういった子供たちのために第2次成長期である中学時代、人とのかかわりの中で自我を確立していく中、親や教師、友人に相談できないさまざまな悩みが個人個人、内に秘めています。どうしたらいいんだろうという心の叫びを我々大人や社会が感じとるべきではないでしょうか。その要因の1つに制服というストレスに関して毎日着るものであり違和感がある。そういった悩みや我慢を制服という重たい鎧ですね、ああ、毎日制服見て嫌だな、学校行きたくないなとい

3月25日（第6号・22日目）一般質問

う、1つの鎧を我々が外してあげればどちらでもいいんだよということを、自然と制服のあり方があれば子供の生き方が変わってくるのではないのでしょうか。是非制服に関する検討委員会を開き、改善に向けて取り組んでほしいと思います。加えて、もし実現するのなら、夏服にも冬服にも一部南風原緋を使用し、地場産業のピーアールや子供たちの地元意識や郷土愛を育まれていくと思います。改めて町長にお伺いします。長い教育長の経験を経て、子供たちと接する中、いろいろ感じるがあったと思います。このご提案に対してご答弁いただけないでしょうか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 新垣善之議員の中学校の制服に関するご質問にお答えいたします。私も基本的には議員と同じ考え方でございます。ただ、若干考え方が違うのは、中学校までは、個人の思いというのは尊重するわけですが、ある程度中学校までは制服を着用していただきたいと思っております。高校生ぐらいからは恐らくそれなりの判断がしっかりとできますので、制服の選択制というのも十分に浸透していくと思うんですけれども、中学校まではある程度、保護者の方、あるいは学校の先生方のアドバイス等も必要かという気もいたします。ただご質問のとおり、実際そういったことで制服が鎧になっているという、そういう生徒がいるのであれば、それはやっぱり本人の考え方を尊重してあげることも教育の一環かと思っております。ただここで申し上げておきたいのは、やはり中学校でするので、制服もセーラー服か学生ズボンかという、これの選択であって、制服にするか、自分のフリーの洋服にするかというのとまた別だと思っておりますので、やはりセーラー服か学生ズボンかどっち、スカートにするのか。その辺の選択というのは本人の考え方を尊重するということがあってもよろしいかと。ただこれを決めるのはあくまでも現場だと思っております。教育委員会がこれを決めて、トップダウンでおろしていくというよりも、やはり学校の現場のほうでいろんな条件を整備した後にそういったような手法も取り入れるということではよろしいかと思っております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。やはり制服という概念は持ちつつ、私も私服ではなくて、男性も女性も、ズボンであろうが、スカートであろうが、どちらを着てもいいんだということを選んでもらうために、そういったデザインづくりというか、それをやっていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

続いて4点目、宮平川の河川管理状況を問うということで、これは具体的には当間原から北丘小学校向けにありていった左手、当間南橋と平原橋ですかね、そのところで土砂が堆積しています。私も3年前まではそこら辺に住んでいたんですけれども、3メートルぐらい土砂が堆積しているような感じを受けます。今後夏に向けて雨季がやってまいりますので、防災の観点からしっかりと除去ができるように、南部土木事務所に訴えていけるといいのかなと感じております。以上、4点質問しました。以上です。ありがとうございます。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後1時30分）

再開（午後1時30分）

○議長 知念富信君 再開します。

通告書のとおり順次発言を許します。4番 石垣大志議員。

〔石垣大志議員 登壇〕

○4番 石垣大志君 ラストバッター石垣大志でございます。平成最後の一般質問よろしくお願ひいたします。早速始めさせていただきます。

1. 自主財源確保について問います。（1）南風原町中期財政計画に新たな自主財源の確保、歳入において町有財産等を有効活用した新たな自主財源の確保に努めるとありますがどのような策か問います。（2）自主財源の推移はどのようになっているか。

大きい2番、広告及び、ネーミングライツ導入を。（1）兼城十字路LED掲示板やホームページ等、広告掲載はしているか。（2）黄金森公園陸上競技場において行われたスポーツ戦キャンプ等において広告掲載の検討をしたことがあるか。（3）全国自治体及び県内でもネーミングライツによる財源確保策があるが、本町も導入を検討してはどうか。

大きい3番、特産品の海外進出について問います。（1）海外への販路拡大をバックアップできるような支援ができないか。答弁よろしくお願ひします。

○議長 知念富信君 副町長。

3月25日（第6号・22日目）一般質問

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目、自主財源の確保について問う。（1）についてお答えします。ふるさと納税のさらなる拡充を図ることや広告収入、ネーミングライツ及び町有地を貸地として活用するなどの財源確保に努めてまいります。

（2）についてお答えします。一般財源における自主財源の推移は、平成27年度が70億2,199万4,000円、28年度が79億3,158万4,000円で伸び率13%。29年度が85億8,188万5,000円で伸び率8.2%と、自主財源は年々増加傾向にあります。

質問事項2点目の広報及びネーミングライツの導入の（1）と（3）については関連しますので一括してお答えします。現在、町の広報や納税通知等の封筒裏面を活用し広告収入を得ております。今後は、LED電光掲示板を活用した広告掲載やネーミングライツ導入も含め、自主財源確保に向けて検討をしてまいります。

質問事項3点目の特産品の海外進出について問うについてお答えします。現在、商工会と連携し地域ブランド構築・展開プロジェクトなどを活用した農産物や南風原良品などを県内外の販路拡大に取り組んでおります。当分は国内の販路拡大に重点を置き、今後は海外の販路拡大を視野に入れた支援について検討してまいります。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項2番目の（2）についてお答えいたします。黄金森公園陸上競技場で行われるキャンプ、それから各種スポーツイベント大会のうち町陸上競技大会でのプログラムやパンフレットなどに広告を募集掲載しております。また、黄金森公園陸上競技場等のネーミングライツやイベント時の広告物の取り扱い方法については、近隣市町村や先進事例の状況を調査し、検討してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。順次再質問させていただきます。財源確保についてですが、広告収入などは歳入のどの部分に入るか教えていただけたらと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 広告収入の歳入は雑入の中に入っております。平成29年度実績で約222万6,000円、あくまでも広報の広告収入として222万6,000円が収入として受けております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 広告とネーミングライツを導入予定とのことですが、活用後の歳入の目標値などがあればお聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 このネーミングライツ及び広告収入、これはほかにもできないかということで、今後検討していく予定ということでありまして。これも4月から実施する行政改革検討委員会の中でこういったものがあるか、調査研究して実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。命名権、ネーミングライツを活用した財源確保はさまざまあると思いますが、どの町有財産を活用していくのかお聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 県内外、県外もそうですが、よくあるのがスポーツ施設等がありまして、南風原町においては黄金森公園陸上競技場等のスポーツ施設、もしくは文化施設もありますので、中央公民館、文化センターなど、あらゆる公共施設に活用できないか検討していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。全国的にも自治体が、広告掲載による自主財源確保を行っております。消耗品、備品、ごみ袋、ホームページも町有財産を活用した財源確保を行っております。是非財源確保に南風原町も努めていただけたらと思います。

次に大きい2番の広告及びネーミングライツ導入をの再質問に移りますが、兼城十字路の電光掲示板、あとホームページ等もすぐに始めるべきだと思いますが、その辺もお聞かせ願います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 兼城十字路のLED電光掲示板、またはホームページのバナー広告等、これも今後検討してまいりたいと考えております。

3月25日（第6号・22日目）一般質問

- 議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。  
○4番 石垣大志君 ホームページの閲覧者数、ページビュー数等があれば数字をお願いします。
- 議長 知念富信君 総務部長。  
○総務部長 宮平 暢君 ホームページの中で上位5、個別でどれを見たかという件数はありますが、トータルの件数については調べないとわかりませんので、現在持ち合わせておりません。すみません。
- 議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。  
○4番 石垣大志君 調べればわかりはするということによろしいですか。お願いします。
- 議長 知念富信君 総務部長。  
○総務部長 宮平 暢君 調査すればできますが、ただ今回、1週間でいろいろな項目を検索している順位づけがありますが、あれが月間で1位が5,484件、1位の閲覧数が5,484件ということで、月ベースでなっております。
- 議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。  
○4番 石垣大志君 ありがとうございます。やはりこの数字が広告収入に必要だと思えますので、今後もまた教えてください。
- 次に（2）ですが、キャンプ地やスポーツ戦等、この辺ですが、やっぱり昨年も高校サッカー決勝で黄金森公園陸上競技場が使われておりまして、J1のキャンプもありますし、非常に知名度、J1のクラブチーム等持っていますので、是非ともこの黄金森公園陸上競技場が活用できれば、とても大きい財源確保につながるかと思っておりますが、黄金森公園陸上競技場のJ1キャンプ来場者数は把握していますか。その辺をお聞かせ願います。
- 議長 知念富信君 教育部長。  
○教育部長 金城郡浩君 こちらのほうは、推定になります。去年が1万人で、今度が5,000人という形で、こちらのほうで推定しています。
- 議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。  
○4番 石垣大志君 ありがとうございます。1万人、5,000人と減っていますが、グランパスが優勝してくれれば多分もっと伸びるのかなと思えますし、やはり広告収入の柱にもなるんじゃないかと思っておりますが、その辺、具体的にできるのかできないのか、ちょっと聞かせていただければと思います。
- 議長 知念富信君 教育部長。  
○教育部長 金城郡浩君 J1での広告等という形では、少しいろいろと考えていかないといけないと思うんですが、ネーミングライツの部分については、既に実施している市町村がありますので、その辺を調査して、先ほど総務部長の答弁にもありましたように、全体的に導入ができるように考えていきたいと思えます。
- 議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。  
○4番 石垣大志君 ありがとうございます。ちょっと町民の皆様で多分ネーミングライツを知らない人がいると思うので説明させていただきますと、公共施設の名前を付与する命名権と附帯する諸権利のことをいいます。具体的にいうと、スポーツ施設などに名前や企業名、社名ブランドをつけることであり、公共施設の命名権をスポンサー契約できる制度であります。例えばですね、沖縄セルラースタジアム那覇とかコザしんきんスタジアム、県内でもさまざまな自治体がネーミングライツ制度を活用しておりまして、施設以外にもイオンモールが北中城村の村道、道路ですね、その命名権を年額150万円で取得。沖縄市においても地元企業の上門工業が市の清掃用制服の命名権を120万円の1年契約で取得しております。そして先日、沖縄市が4月からバス停オーナー制度を導入すると発表しておりまして、オーナーと協賛契約を結んでバス停オーナーの名称を入れたバス停の設置、時刻表やバス内にオーナーの名前や広告掲載を行って、コミュニティーバスの資金確保に活用すると発表しております。この辺ももし把握しているか、答弁いただければと思います。バス停オーナー制度、お願いします。
- 議長 知念富信君 総務部長。  
○総務部長 宮平 暢君 先ほど答弁したようにスポーツ施設ですね、あと文化施設、道路、歩道橋等には調査して知っていましたが、このバス停については今、石垣議員から説明があつて初めて知りましたので、この辺も深く広く、あらゆる施設に活用できないか検討していきたいと考えております。
- 議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

3月25日（第6号・22日目）一般質問

○4番 石垣大志君 いろいろ財源確保は多分資料を出せばあると思いますが、若い人は何かをするときに、最近では銀行にお金を借りるのではなくてクラウドファンディングというインターネットを介した資金調達のやり方を持っていますので、その辺も自治体で活用していただくと、また財源確保の幅も広がるのかと思っております。その辺も含めて、自主財源の確保に努めていただきたいと思いますし、3番に移りたいと思いません。

特産品の海外進出についてですが、海外への販路拡大をバックアップできるような支援ができないかということですが、これまでに海外進出したいという事業者から相談等がありましたらお聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 今までは海外のお話はありませんでした。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 これから多分、もしあった場合に、沖縄県の補助メニューであったり、相談対応をしていただいて、今後の地場産業、特産品開発につなげていけたらと思います。私にも相談があったものですから、この海外進出の補助と対応してくれないかという相談があったので、これからはもしそういう事業者が来た場合には温かい対応をお願いして、質問を終わりたいと思います。

平成最後なので、最後に一言。本年度で退職される方々が多分いらっしゃると思います。長年本町、南風原町の発展のためにご尽力いただき感謝を申し上げます。長い間、本当にご苦労さまでございました。平成最後の議会になりますが、新しい時代に向けて、本町発展のために私自身も邁進してまいりますこととお誓い申し上げ、一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後1時45分）

再開（午後1時45分）

○議長 知念富信君 再開します。

○議長 知念富信君 以上で本日の日程は、全部終了しました。本日は、これで散会します。お疲れさまでございました。

散会（午後1時47分）